

九州歴史資料館職員紹介

城戸 秀明 キド ヒデアキ／KIDO Hideaki



所属／職名

九州歴史資料館 館長

【ごあいさつ】

九州歴史資料館は、昭和48年に福岡県太宰府市に開館し、平成22年に、現在の地、「小郡市三沢」に移転しました。

福岡県は、古くから中国大陸、朝鮮半島などとの対外交流の窓口として発展し、我が国歴史上も重要な役割を果たした地域であり、先人たちの足跡をたどることができる多彩な文化財が各地に残されております。

九州歴史資料館は、九州全域を視野に入れながら、各種文化財の調査・研究及び活用等を行う博物館機能と県内遺跡等の発掘調査・研究及び出土品の管理等を行う埋蔵文化財センター的機能を併せ持っております。

当館では、これらの機能を最大限活用し、毎年、様々なテーマによる常設展、企画展、特別展を開催しているほか、職員による展示解説、各種講座、イベント、ボランティアさんの協力による体験活動などを実施しております。

さらに、ホームページで当館の文化財を観覧できる「館内360°バーチャル体験」、文化財を立体的に観察できるVRコンテンツ制作などデジタルコンテンツの導入にも取り組んでおり、ご好評をいただいております。

また、当館は大宰府史跡の研究を柱としておりますが、令和3年度からは、これをさらに深めていくため、古墳時代や弥生時代など前史も含めた古代史研究に取り組んでおります。これは、福岡県が太古より、特にアジアという視点において、我が国の玄関口として機能し続けていていることを踏まえ、福岡を視座に据えた新たな古代史像の構築を目指し、日本の成り立ちを解明していこうとするものです。これを広く還元することで、県民の郷土愛を育み、生活に豊かさをもたらし、また、本県の魅力を広く発信していきたいと考えております。

皆様に关心を持っていただき、広く利用され、満足をいただいてこそ、当館の価値があるものと考えており、今後も、魅力ある企画等を実施していきたいと考えております。

これからも、ご来館された皆様のご期待に応えられるよう、職員一同、より一層、魅力ある活動を展開し、いつ来てもワクワクする資料館づくりに努めてまいります。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。